

「オホーツク連携地域政策展開方針(H20～H24)」 に係る地域重点プロジェクトの推進状況の概要

地域のめざす姿

豊かな地域資源を有し、自然と共生する
快適な暮らしが広がる「オホーツク連携地域」

「主な施策の展開方向」

- オホーツクの統一イメージの形成・発信による地域ブランドの確立
- 豊富な農林水産資源を生かした地域産業の展開や産業集積の促進
- 知床など特色ある自然を生かした環境と調和する観光の展開
- 地域の特性を踏まえた環境重視型社会の形成
- 景観、気候などの特性を生かしたオホーツクらしい文化・スポーツの創造
- 安心して暮らせる地域医療の確保
- 地域防災体制や防災施設の整備
- 暮らしや産業を支える交通・情報ネットワークの形成

地域重点プロジェクトの推進状況

■ オホーツク・エリア・アイデンティティ（オホーツクA I）の推進

【推進エリア：オホーツク連携地域】

【主な取組実績】

- インナーコミュニケーションの充実
 - ・ 水のがっこう夏祭りへの出展（斜里町）（H21）
 - ・ ミュージアム体験講座の実施（津別町）（H22）
 - ・ シンボルマーク着ぐるみの活用によるPR（H23～）
- 「オホーツク『食』の地域ブランド形成ネットワーク」の設立（H23.3～）
- サッポロビール㈱社員を対象とした「オホーツク食の宅急便」の実施（H24.3～6）
- 「オホーツク流氷の日」の実施（H20～）
- レンタカー利用者を対象とした「エコドライブキャンペーン」等を推進（H21～23）
- CO2の吸収を目的とした植樹会の実施（H23～24）

【主な成果】

- 地域資源を活かしたイベント等により、地域住民が地域の魅力を再発見する機会を創出
- 「オホーツク『食』の地域ブランド形成ネットワーク」の登録団体が64団体に拡大、情報発信、構成機関の連携・協力による取組が推進
- 地元食品企業に対するニーズ等調査を行い、モデル的な商品開発支援、フォーラム開催による普及啓発が推進
- 観光関連団体と連携した二酸化炭素削減に向けた取組により、官民一体となった環境運動を展開

【今後の取組方向（主なもの）】（H25～）

- ① シンボルマークを活用したPRやITを活用した地域の魅力発信
- ② 原料供給型の産業構造を持つオホーツク地域の課題を踏まえ、新商品開発を目指す研究開発の促進やネットワークの推進について、地域の関係機関と有機的に連携し、総合的・横断的に推進
- ③ CO2の吸収に関する取組の検討・実施

①②③⇒ H25からの地域重点プロジェクト：「オホーツク・エリア・アイデンティティ推進プロジェクト」で推進

【地域で考える目標の状況】

項 目	H19 (基準年)	H20	H21	H22	H23	H24 (実績)	H24 (目標)
宿泊施設等の室温設定見直し参加市町村（市町村）	12	15	15	15	15	15	19
観光入込客数（宿泊客数）（千人）	1,892	1,691	1,635	1,710	1,448	1,489	2,000

■ 地域資源を生かした新たな観光の魅力づくりとプロモーション活動の推進

【推進エリア：オホーツク連携地域】

【主な取組実績】							
<ul style="list-style-type: none"> ○道東地域観光戦略会議等の開催（7回、道東地域観光戦略策定）(H20～H22) ○網走国定公園エコツーリズムモニターツアーの実施（2回、13名）(H21) ○オホーツクフェアin札幌開催（年1回～食の魅力と観光PR）(H20～H24) ○海外メディア招へい事業の実施（H21～H23） （H21～22 香港・シンガポール H23 台湾・香港・シンガポール） 							
【主な成果】							
<ul style="list-style-type: none"> ○遠紋サロマ湖地域広域観光推進協議会の設立（H24.4） ○各種PR事業を通じて、道内外の消費者・観光客に対し、オホーツク地域の魅力を効果的に発信 ○外国人観光客宿泊者延数の増（H21年度 44,224人泊 → H24年度 63,993人泊(44.7%の増)） 							
【今後の取組方向（主なもの）】（H25～）							
<ul style="list-style-type: none"> ①札幌圏を対象にした観光と物産PRの実施（オホーツク観光物産フェアinチ・カ・ホの開催） ②着地情報網の整備（観光情報の共有化、着地情報の発信等） ③オホーツク地域における滞在型エリアの形成促進 ④オホーツク・インバウンドセミナーの開催 							
①②③④⇒ H25からの地域重点プロジェクト：「地域資源を生かした観光の創出・発信プロジェクト」で推進							
【地域で考える目標の状況】							
項目	H19 (基準年)	H20	H21	H22	H23	H24 (実績)	H24 (目標)
観光入込客数(宿泊客数)(千人)	1,892	1,691	1,635	1,710	1,448	1,489	2,000
訪日外国人宿泊者数(延べ人数)(人)	46,086	52,256	44,224	50,615	35,183	63,993	90,000

■豊かな地域資源を生かしたオホーツク農業の振興と体質強化

【推進エリア：オホーツク連携地域】

【主な取組実績】							
<ul style="list-style-type: none"> ○斜里町特産の春まき小麦「春よ恋」を使用したラーメン等の開発・商品化に向け支援（H20～H21） ○「オホーツク自給率向上定着化促進事業」により、小麦の多収・高品質化に関する生産技術の確立、病害虫に強い馬鈴しょの普及・消費拡大に向けた取組を実施（H23～H25） ○「粗飼料増産モデル推進事業」により、耕畜連携に取り組む交換耕作、請負耕作の実証試験を実施（H21） ○自給飼料作物の生産拡大に資する実証試験を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・サイレージ用とうもろこしとライ麦による二毛作の実証（H22～H25） ・イアコーンサイレージの有機栽培の実証（H23～H24） 							
【主な成果】							
<ul style="list-style-type: none"> ○センキュウ、ハッカの栽培技術指導や情報提供並びに雑穀、在来種豆の栽培技術資料の作成や情報提供等を行うことにより、生産者の作付意欲の促進に貢献。 ○春まき小麦や病害虫抵抗性を持つ馬鈴しょ品種の作付け拡大と販路拡大 ○サイレージ用とうもろこしとライ麦の二毛作、イアコーンサイレージの実証では、収量・サイレージ品質ともに、目標どおりのデータが得られている 							
【今後の取組方向（主なもの）】（H25～）							
<ul style="list-style-type: none"> ①パン・中華麺用小麦の栽培技術の普及定着促進、たまねぎ栽培における排水対策技術等の確立実証、病害虫に強い馬鈴しょの普及に向けた栽培試験、等の実施 ②自給飼料作物の作付面積が不足する地域におけるサイレージ用とうもろこしとライ麦の二毛作作付体系の技術指導等の実施 ③肉用牛素牛生産農家の飼養管理技術の向上や生産者支援組織の指導者育成への取り組み支援 							
①②③⇒ H25からの地域重点プロジェクト：「豊かな地域資源を生かしたオホーツク農業の振興と体質強化プロジェクト」で推進							
【地域で考える目標の状況】							
項 目	H19 (基準年)	H20	H21	H22	H23	H24 (実績)	H24 (目標)
農業経営対数(販売)に占める認定農業者の割合(%)	82	81	81	90	88	87	87
GAP(農業生産工程管理手法)導入に取り組む産地数(産地)	15	22	24	29	29	31	50
エコファーマー認定数(戸)	193	233	339	345	427	438	300

■ オホーツクの豊かな森林資源を生かした林業・木材産業等の健全な発展

【推進エリア：オホーツク連携地域】

【主な取組実績】							
○人工林資源の保続・循環利用をするための計画を策定（H21） ○地域材の利用促進を進めるため、ブランド材の認定機関「オホーツクウッド認証委員会」を設立（H22） ○森林ボランティア団体との交流や情報発信（H20～24） ○木育ひろばや木育ランドの開催（H20～24）							
【主な成果】							
○人工林伐採跡地へ7,580ha造林され、人工林資源の保続及び循環利用が促進（H20～H24） ○木育ひろば、木育ランドが、延べ43市町村で開催され、木育への意識の醸成が促進（H20～H24） ○森林ボランティア等の活動が、1,420回程度実施（H20～H24）							
【今後の取組方向（主なもの）】（H25～）							
① H21に策定した計画を踏まえ、森林資源の適切な管理を推進 ② 地域材の利用促進に向けて、地域の関係者が様々な取組を展開するとともに、ブランド材の普及に向けた取り組みを展開 ③ 森林ボランティア団体との交流や情報発信を促進 ④ 木育ひろばや木育ランドなどを開催							
①②③④⇒ H25からの地域重点プロジェクト：「豊かな森林資源を生かした林業・木材産業等の健全な発展プロジェクト」で推進							
【地域で考える目標の状況】							
	H19 (基準年)	H20	H21	H22	H23	H24 (実績)	H24 (目標)
人工林伐採跡地への造林面積 (ha)	1,363	1,590	1,506	1,544	1,472	1,468	2,000
「木育ひろば」「木育ランド」の開催市町村数(市町村)	5	7	7	8	11	10	18
森林ボランティア等の活動回数 (回/年)	215	211	409	303	330	165	240

■ ほたて漁業を核とした水産業の振興

【推進エリア：オホーツク連携地域】

【主な取組実績】							
○漁場耕うん及び中間育成施設の移設等を実施（3地区）（H20～H23） ○屋根付き岸壁や取排水施設など衛生管理に配慮した漁港を整備（9地区）（H20～H24） ○道産水産物ブランド化推進事業によりシラウオのブランド化を支援（H21）							
【主な成果】							
○漁業生産の向上・安定（H19-256千トン → H22-313千トン）							
【今後の取組方向（主なもの）】（H25～）							
① E U 向けホタテガイ生産海域の拡大 ② H A C C P 認定加工場の増加により、輸出を拡大し、魚価及び漁業経営の安定を図る ③ 安全安心な道産水産物の海外への積極的な P R							
①②③⇒ H25からの地域重点プロジェクト：「育てる漁業を核とした強いオホーツク水産業確立プロジェクト」で推進							
【地域で考える目標の状況】							
項 目	H19 (基準年)	H20	H21	H22	H23	H24 (実績)	H24 (目標)
ホタテ中間育成施設の移設等地区数(地区)	-	3	3	3	3	3	3
E U 向け生産海域を有する漁協数(漁協)	3	3	3	3	3	6	6
E U 対応 H A C C P 認定加工場の数(箇所)	2	2	2	2	4	4	5